

編集後記

明星大学発達支援研究センター紀要MISSIONは第9号となる本誌で最終号となります。発達支援研究センターの設立以来、研究活動や実践活動を支えてくださった先生方、また歴代の研究員に「明星大学発達支援研究センターの成果と未来に託すもの」として寄稿いただきました。心より感謝申し上げます。センターへのメッセージのみならず、今、そしてこれからの社会がチャレンジしていく課題をお示しいただきました。また、2022年に刊行されたWISCの最新版について本誌では「WISC- V研究の基盤」として特集いたしました。これからの10年、発達に凸凹があり上手くいかない思いを抱えている子どもたちの助けになるWISC- Vについてこのタイミングで取り上げることができたことは幸甚の極みです。ご寄稿いただいた先生方に改めて感謝申し上げます。

明星大学発達支援研究センターは発展的解消として、大学発ベンチャーのTandem社として形を変えますが、この紀要MISSIONを手にとって拝読いただけた皆様と共に、引き続き読み書きや自立に向けた支援にチャレンジしてまいりたいと思います。

今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、毎号辛抱強く、そして丁寧な作業で紀要を仕上げてくださったタマプリント社に心より感謝申し上げます。

(編集委員を代表して 小笠原哲史)

明星大学発達支援研究センター紀要 MISSION 第9号

2024(令和6)年 2月22日 印刷
2024(令和6)年 3月 5日 発行

発行者 明星大学発達支援研究センター
センター長 小 貫 悟
編集者 明星大学発達支援研究センター紀要編集委員会
発行所 明星大学
東京都日野市程久保2-1-1
電 話 042-591-5111(代表)

印刷・製本 株式会社タマプリント